

情報・読者のページ

# ひろば

お茶の水女子大学ECCELL 夜間講義  
乳幼児教育・保育 社会人リカレントプログラム  
平成24年4月 新学期開講!!

現職保育者の方、保育に関心のある社会人の皆様。  
お茶大では、保育・幼児教育の現代的な課題に応える  
ユニークなカリキュラムを、夜間(18:20~19:50)や  
集中授業で開いています(科目等履修、共学です)。  
詳しくは下記HP、連絡先まで。

<http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/life.html>  
(電話03-5978-5949)

【(参考)2012年4月開講科目】(予定)

「コミュニティ保育資源の活用I」

「乳幼児発達障害論I」「乳幼児保育マネジメントI」

「子ども理解と保育の探求I」「現代保育課題研究Ⅲ」

## 映画紹介 『セヴァンの地球のなかし方』 (2010年 フランス 120分)

監督 ジャン＝ポール・ジョー  
配給・宣伝 アップリンク

1992年リオデジャネイロで開催された地球サミットで、セヴァン・スズキというカナダ在住の当時12歳の少女がスピーチをした。それに感銘を受けた監督が、スピーチを切り口に、もうすぐ母親になるセヴァン本人や、日本やフランスで地球・環境と向き合う活動を模索している人たちの姿を追う。「どうやってなおすかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください」。今起こっていることが未来に引き継がれる。その未来を生きる子どもたちに、何をどう手渡し得るのか。そのために今、何にどう取り組むべきなのか。ぐるぐると考え続けている。

2011年6月より全国で順次公開中。(菊地)

本の紹介 『「クラスだより」で響き合う保育  
子どもと親と保育者でつながるしあわせ』  
高橋光幸・小黒美月  
かもがわ出版 2011年8月25日

2010年4月から2011年3月までの一年間、東日本大震災後の一日と土・日・祝日を除いた毎日、一日も欠かさずに、著者である担任二人が出してきた4歳児ばら組のクラスだより。ともかく楽しく笑い合っ  
て、実に人間的に、子どもも自分も丸ごとで生き、つ  
ながろうとし続ける。そして愉しさ、ふざけぶり、面白  
さそのままに、毎日毎日、子を思い親を思ってクラス  
だよりを綴り続ける。それは本当に知的かつ泥臭い  
作業で、どの色合いのどのおたよりも、笑い無くして  
は読めず、また、深い感嘆と涙無くしては私には読め  
なかった。(菊地)

本(雑誌)の紹介  
『のら』(季刊) 農文協

「のら」とは、野良仕事の「野良」。田んぼや畑、野原、  
山、川、海辺といった、人がかかわる身近な自然をさ  
す。誌面には、日常の暮らしの中で、「のら」で遊んだ  
り、お手伝いしたり、お小遣いを稼ぐような生活力のある「のらばーず(農業少年)」や「のらガール(農業少女)」が多数登場し、「農」の面白さや秘訣を語ったり、  
知識や技術を披露する。また、南相馬市の炊き出し学  
校給食の、4~7月の毎日の献立写真も掲載されて  
いる。読者プレゼントは、クラシックトラクターのポ  
ストカード集や大麦の種、山羊の絵本など。いいなあ。ム  
クロジの実欲しさに、巻末のはがき、出そうかしら。子  
どもじゃないとダメかなあ。(菊地)